

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成29年3月3日 9時00分～12時20分

出席委員：入谷委員長・立花委員・天谷委員・中西委員・佐伯委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成28年中におけるインターネットバンキングを利用した不正送金の状況	生活安全部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長
2	主要事件の検挙	刑 事 部	
3	主要事件の発生		
4	交通事故発生状況（平成29年2月末）	交 通 部	
5	主要事件の発生・検挙		
6	主要事件の検挙		

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（11件）	総務部	公安委員会執務官
2 報告	外部通報調査結果・措置内容		
3 報告	愛知県警察における特定秘密保護法に基づく適性評価の実施状況（平成28年中）	警務部	警 務 課 長
4 裁定	犯罪被害者等給付金支給裁定（3件）		住 民 サ ー ビ ス 課 長
5 報告	監察案件		首 席 監 察 官
6 報告	平成29年度監察実施計画		
7 裁決	放置違反金及び放置違反金に係る延滞金差押処分に対する審査請求		訟 務 官
8 決裁	愛知県暴力団排除条例による勧告	刑 事 部	組 織 犯 罪 対 策 課 長
9 決裁	愛知県道路交通法施行細則等の一部改正	交 通 部	運 転 免 許 課 長
10 報告	準中型自動車免許に係る無免許運転等の防止に関する広報啓発活動の実施状況について		
11 報告	愛知県警察における特定秘密の保護措置の実施状況（平成28年中）	警 備 部	警 備 総 務 課 長
12 決定	聴聞等の実施結果・決定 44件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 生活安全部

平成28年におけるインターネットバンキングを利用した不正送金の状況

生活安全部長から、平成28年におけるインターネットバンキングを利用した不正送金の状況について、

「発生件数は37件で、前年比で15件減少した。被害額は3,400万円で、前年比で1億6,740万円減少した」

旨の報告があった。

(2) 刑事部

ア 主要事件の検挙

刑事部長から、

名古屋市南区内における強盗殺人未遂事件被疑者の検挙概要について報告があった。

委員から、

「早期に解決できたのは良かった」

旨の発言があった。

イ 主要事件の発生

刑事部長から、

「3月2日、南警察署管内において殺人事件を認知し、同日、同署に捜査本部を設置した」

旨の報告があった。

(3) 交通部

ア 交通事故発生状況（平成29年2月末）

交通部長から、平成29年2月末の交通事故発生状況について、
「交通事故死者数は、2月中18人で前年同期と比べ8人増加した。
2月中の交通死亡事故の主な特徴は、
下旬（2/21～2/28）に多発
自転車利用者の事故が多発
尾張地域が多発

である。

3月中の主な取組は、
交通事故多発警報発令に伴う対策の強化
高齢者対策の推進
企業等と連携した広報啓発活動の実施
交通機動隊の集中投入

である」

旨の報告があった。

イ 主要事件の発生・検挙

交通部長から、
名古屋市中川区における死亡ひき逃げ事件の発生及び検挙概要
について報告があった。

(4) 警備部

主要事件の検挙

警備部長から、
政治団体幹部らによる企業恐喝事件の検挙概要
について報告があった。

委員から、

「この種の事案は、数多く潜在していると思うので、今後も積極的に事件化していただきたい」
旨の発言があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（11件）

公安委員会執務官から、
2月27日までに届いた公安委員会宛の文書等11件
について報告があり、決裁した。

(2) 外部通報調査結果・措置状況

公安委員会執務官から、
外部通報に係る調査結果及び措置状況
について報告があった。

(3) 愛知県警察における特定秘密保護法に基づく適性評価の実施状況（平成28年中）

警務課長から、
平成28年中の愛知県警察における特定秘密保護法に基づく適性評価の実施状況
について報告があった。

(4) 犯罪被害者等給付金支給裁定（3件）

住民サービス課長から、
重傷病給付金支給裁定 2件
障害給付金支給裁定 1件
について説明があり、いずれも原案どおり裁定した。

(5) 監察案件

首席監察官から、
監察案件
について報告があった。

(6) 平成29年度監察実施計画

首席監察官から、
平成29年度の監察実施計画
について報告があった。

(7) 放置違反金及び放置違反金に係る延滞金差押処分に対する審査請求

訟務官から、放置違反金及び放置違反金に係る延滞金差押処分に対する審査請求について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明
があり、審議し、原案どおり裁決した。

(8) 愛知県暴力団排除条例による勧告

組織犯罪対策課長から、
「愛知県暴力団排除条例第25条の規定により、勧告を実施する」
旨の説明があり、決裁した。

(9) 愛知県道路交通法施行細則等の一部改正

運転免許課長から、
「準中型免許の新設や高齢運転者対策の充実を主な内容とする道路交通法の一部を改正する法律の施行及び運転経歴証明書の交付（再交付）申請

場所の拡大等に伴い、愛知県道路交通法施行細則及び平成27年愛知県公安委員会告示第2号（技能検定員審査又は教習指導員審査を受けようとする者が当該審査の一部を免除される場合における当該免除される審査に係る手数料の額）の一部改正を行う」旨の説明があり、決裁した。

(10) 準中型自動車免許に係る無免許運転等の防止に関する広報啓発活動の実施状況について

運転免許課長から、
準中型自動車免許に係る無免許運転等の防止に関する広報啓発活動の実施状況
について報告があった。

委員から、
「広報啓発活動については、落ち漏れのないようしっかりと行っていただきたい」
「場合によっては、条例で事業者の確認を義務付けるなどすることも検討してみたいはかがか」
旨の発言があった。

(11) 愛知県警察における特定秘密の保護措置の実施状況（平成28年中）

警備総務課長から、
平成28年中の愛知県警察における特定秘密の保護措置の実施状況
について報告があった。

(12) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 44件
風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 4件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成29年3月10日 8時55分～13時00分

出席委員：入谷委員長・立花委員・天谷委員・中西委員・佐伯委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	報告 「児童の性的搾取等撲滅シンポジウムあいち」の開催 刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成29年1月～2月） 主要事件の検挙 行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成29年2月中） 大規模災害発生時における宿泊施設確保に関する協定の締結 主要事件の検挙	生活安全部	本 部 長
2		刑事部	総 務 部 長
3			警 務 部 長
4		警備部	生活安全部長
5			地 域 部 長
6			刑 事 部 長
			交 通 部 長
			警 備 部 長
			名古屋市警察部長
			情報通信部長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	出席者
1 報告	人事案件	本 部 長

案件	件 名	担当部	出席者
2 決裁	公安委員会宛文書等の受理（2件）	総務部	公安委員会執務官
3 決裁			
4 報告	平成28年度愛知県警察の会計監査の実施結果		監 査 官
5 裁定	犯罪被害者等給付金支給裁定（2件）	警務部	住民サービス課長
6 決裁			
7 報告	監察案件		監 察 官 室 長
8 報告	平成28年度術科監察の実施結果		
9 裁決	公安委員会苦情の不作為に対する審査請求		訟 務 官
10 裁決			
11 報告	レゴランドの開業に伴う対策	交通部	交通規制課次長
12 決裁	愛知県警察における運転免許の取扱い等に関する規程等の一部改正		運 転 免 許 課 次 長
13 決定	聴聞等の実施結果・決定	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官
			64件

議事の概要

入谷委員長が県議会出席のため、立花委員が代行を務め議事を進行した。
また、県議会終了後、入谷委員長は審議に出席した。

1 全体審議

(1) 生活安全部

「児童の性的搾取等撲滅シンポジウムあいち」の開催

生活安全部長から、

「3月17日（金）午後2時から、名古屋市東区のウィルあいちにおいて、愛知県、愛知県教育委員会及び愛知県警察本部の主催で『児童の性的搾取等撲滅シンポジウムあいち』を開催し、県民の児童の性的搾取撲滅に向けた気運を醸成する」

旨の報告があった。

委員から、

「学校の教職員は参加するのか」

旨の質問があり、

生活安全部長から、

「愛知県教育委員会を通じ、教職員も参加することとなっている」

旨の説明があった。

(2) 刑事部

ア 刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成29年1月～2月）

刑事部長から、平成29年1月から2月の刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（前年同期との比較）について、

「 刑法犯の認知件数は10,323件で、736件減少した
刑法犯の検挙件数は3,686件で、522件減少した
刑法犯の検挙率は35.7パーセントで、2.4ポイント下降した
刑法犯の検挙人員は2,268人で、272人減少した

重要窃盗犯の認知件数は1,473件で、13件減少した
重要窃盗犯の検挙件数は447件で、539件減少した
重要窃盗犯の検挙率は30.3パーセントで、36.1ポイント下降した
重要窃盗犯の検挙人員は95人で、17人減少した」

旨の報告があった。

委員から、

「重要窃盗犯の認知件数で、住宅対象の侵入盗は減少しているが、事務所荒しや出店荒しは増加しているようなので、検挙活動と併せて、注意喚起をしっかりと行うなど防犯対策にも努めていただきたい」

旨の発言があった。

イ 主要事件の検挙

刑事部長から、

南区内における強盗殺人事件被疑者の検挙概要
覚醒剤密輸入事件被疑者の検挙概要

について報告があった。

強盗殺人事件について、委員から、

「早期に検挙できて良かった」

「裏付け捜査をぬかりなく行っていただきたい」

旨の発言があった。

また、覚醒剤密輸入事件について、委員から、

「粘り強い捜査のたまものであり、見事である」

旨の発言があった。

(3) 警備部

ア 行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成29年2月中）

警備部長から、2月中の行進又は集団示威運動に関する条例の取扱状況について、

「19件の許可申請を受理し、全て許可した」
旨の報告があった。

イ 大規模災害発生時における宿泊施設確保に関する協定の締結

警備部長から、

「南海トラフ巨大地震等の大規模な災害が発生した際、愛知県内を東部、北西部、南西部に分けて、各地域ごとに部隊を投入して災害対応することとしており、部隊が被災地等における警察活動を継続して行うため、部隊宿泊施設の提供を受けることを目的とした協定を、県東部の愛知県ホテル・旅館生活衛生同業組合蒲郡支部、県北西部の愛知県ホテル・旅館生活衛生同業組合豊田支部に続き、県南西部の愛知県ホテル・旅館生活衛生同業組合美浜支部と締結する」

旨の報告があった。

ウ 主要事件の検挙

警備部長から、

政治団体幹部による詐欺事件の検挙概要

外国為替及び外国貿易法違反事件の検挙概要

について報告があった。

委員から、

「全容解明に向けて今後も尽力していただきたい」

旨の発言があった。

2 個別審議

(1) 人事案件

本部長から、

人事案件

について報告があり、地方警務官の異動案件については同意を得た。

(2) 公安委員会宛文書等の受理（2件）

公安委員会執務官から、

3月6日までに届いた公安委員会宛の文書2件
について報告があり、公安委員会は、「当直警察官の対応に対する申出」及
び「交通取締りに関する申出」の2件を警察法第79条に規定する苦情として
受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(3) 激励の上申（2件）

公安委員会執務官から、

大手企業元役員らによる不正競争防止法違反事件捜査本部
南区内における老夫婦被害強盗殺人事件特別捜査本部
に対する激励の上申について説明があり、いずれも決裁した。

(4) 平成28年度愛知県警察の会計監査の実施結果

監査官から、

平成28年6月13日から平成29年2月17までの間に実施された平成28年度
の愛知県警察の会計監査の結果
について報告があった。

(5) 犯罪被害者等給付金支給裁定（2件）

住民サービス課長から、

遺族給付金支給裁定 1件

重傷病給付金支給裁定 1件

について説明があり、いずれも原案どおり裁定した。

(6) 苦情の調査結果

住民サービス課長から、
公安委員会宛の「犯罪捜査に関する苦情」について調査結果の報告及び
申出者に対する通知文案の提示と説明
があり、原案どおり決裁した。

(7) 監察案件

監察官室長から、
監察案件
について報告があった。

(8) 平成28年度術科監察実施結果

監察官室長から、
平成28年度における術科監察の実施結果
について報告があった。

委員から、
「定期的な監察の実施は重要であるが、形骸化しないよう配慮されたい」
旨の発言があった。

(9) 公安委員会苦情の不作為に対する審査請求

訟務官から、公安委員会苦情の不作為に対する審査請求について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明
があり、審議し、原案どおり裁決した。

(10) 公訴時効期間の誤教示に対する審査請求

訟務官から、公訴時効期間の誤教示に対する審査請求について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明

があり、審議し、原案どおり裁決した。

(11) レゴランドの開業に伴う対策

交通規制課次長から、
名古屋市港区内におけるテーマパーク及び公園型商業施設の開業に伴い
警察が実施する各種対策
について報告があった。

委員から、
「物流関係への影響も考慮し、関係企業との連携も図られたい」
旨の発言があった。

(12) 愛知県警察における運転免許の取扱い等に関する規程等の一部改正

運転免許課次長から、
「3月12日、道路交通法の一部を改正する法律の施行に伴い、愛知県公安委員会規程である愛知県警察における運転免許の取扱い等に関する規程、自動車教習所に関する事務取扱規程、愛知県公安委員会事務専決規程及び運転免許取得車教育の認定に関する事務取扱規程の一部を改正する」
旨の説明があり、決裁した。

(13) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 61件
風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 3件
について報告があり、行政処分を決定した。

定例公安委員会

日時：平成29年3月17日 9時05分～12時15分

出席委員：入谷委員長・立花委員・天谷委員・中西委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件名	担当部	出席者
1	4月の行事予定	警務部	本務部長 総務部長 警務部長 生活安全部長 地域部長 刑事部長 交通部長 警備部長 名古屋市警察部長 情報通信部長
2	春の安全なまちづくり県民運動の実施	生活安全部	
3	主要事件の検挙	地域部	
4	名古屋市長選挙における選挙違反の厳正な取締り	刑事部	
5	主要事件の発生・検挙		
6	交通死亡事故抑止月間の実施	交通部	

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件名	担当部	出席者
1	決裁 公安委員会宛文書等の受理（2件）	総務部	公安委員会執務官
2	報告 警察活動についての県政世論調査結果	警務部	警務課長
3	決裁 「愛知県公安委員会の保有する個人情報の保護等に関する規則」の一部改正		住民サービス課長
4	裁定 犯罪被害者等給付金支給裁定（2件）		訟務官
5	決裁 行政訴訟の訴えの取下げに対する対応		
6	決裁 行政訴訟の発生及び応訴		
7	裁決 放置違反金納付命令に対する審査請求		子ども女性安全対策課長
8	裁決 運転者区分決定に対する審査請求		
9	報告 ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の実施	生活安全部	保安課長
10	報告 愛知県公安委員会の権限に属するストーカー行為等の規制等に関する法律に規定する事務を警察本部長等に委任する規則の制定等（案）		
11	決裁 風俗営業等の管理者講習等の実施に関する委託	刑事部	刑事総務課長
12	決裁 西東海広域捜査隊の編成に関する協定の改正	交通部	交通総務課長
13	報告 商工会議所と連携した交通安全活動		運転免許課長
14	報告 運転経歴証明書の申請窓口の拡充	総務部	首席聴聞官 聴聞官
15	決定 聴聞等の実施結果・決定 51件		

議事の概要

1 全体審議

(1) 警務部

4月の行事予定

警務部長から、4月の行事予定について、
「県警強調業務は、
交通死亡事故の抑止
で、各部強調業務は、
猟銃当所持者の実態把握の強化
である」
旨の報告があった。

(2) 生活安全部

春の安全なまちづくり県民運動の実施

生活安全部長から、
「4月1日(土)から10日(月)までの10日間、安全で安心して暮らせる地域社会の実現を図ることを目的に、『春の安全なまちづくり県民運動』を実施する。
運動の重点は、
住宅を対象とした侵入盗の防止
特殊詐欺の被害防止
子どもと女性の犯罪被害防止
自動車盗の防止
である」
旨の報告があった。

委員から、

「地域の安全のため各警察署が工夫を凝らして様々な取組をしているようであるが、効果的な事例については是非還元していただきたい」

旨の発言があった。

(3) 地域部

主要事件の検挙

地域部長から、
非現住建造物等放火被疑者の検挙概要
について報告があった。

委員から、
「大変いい仕事をされた」
旨の発言があった。

(4) 刑事部

ア 名古屋市長選挙における選挙違反の厳正な取締り

刑事部長から、
「4月9日告示、4月23日投票の日程で行われる名古屋市長選挙につ
いて、3月30日（木）、警察本部および名古屋市内の各警察署に名古屋
市長選挙違反取締本部を設置し、選挙違反の適正な取締りを推進する」
旨の報告があった。

イ 主要事件の発生・検挙

刑事部長から、
北名古屋市内における殺人事件の発生及び検挙概要
について報告があった。

委員から、
「今回は、過去の反省・教訓を生かした幹部の適切な指揮が功を奏し、
早期の検挙につながった。異動期であるが、指揮を執る者が変わっても

捜査の質が変わることのないようにしていただきたい」旨の発言があった。

(5) 交通死亡事故抑止月間の実施

交通部長から、

「4月1日(土)から5月7日(日)までの37日間を交通死亡事故抑止月間と定め、交通指導取締りを強化するとともに、新入学児童や高齢者等への幅広い年齢層に対して交通安全教育等を推進するなど交通事故抑止対策を強力に推進することにより、交通死亡事故の抑止を図る」

旨の報告があった。

委員から、

「是非この期間に民間企業の活動とも連動した活動を行い、効果が上がるよう尽力されたい」

旨の発言があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理(2件)

公安委員会執務官から、

3月13日までに届いた公安委員会宛の文書等2件について報告があり、公安委員会は、「交通取締りに対する申出」を警察法第79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 警察活動についての県政世論調査結果

警務課長から、

警察活動についての県政世論調査結果について報告があった。

委員から、

「若い年代層はあまり『愛知県は安全・安心なまちだ』と感じていないという結果であるが、可能であればその要因を探っていただき、必要な対策を講じて安全・安心につなげていただきたい」

旨の発言があった。

(3) 「愛知県公安委員会の保有する個人情報の保護等に関する規則」の一部改正

住民サービス課長から、

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律附則第1条第5号が施行となり、愛知県個人情報保護条例附則の一部が5月30日から施行されることとなった。それに伴い、愛知県公安委員会の保有する個人情報の保護等に関する規則を整理する」

旨の説明があり、決裁した。

(4) 犯罪被害者等給付金支給裁定（2件）

住民サービス課長から、

遺族給付金支給裁定 1件

障害給付金支給裁定 1件

について説明があり、いずれも原案どおり裁定した。

(5) 行政訴訟の訴えの取下げに対する対応

訟務官から、行政訴訟の訴えの取下げに対する対応について、

「相手方から裁判所に対し訴えの全部を取り下げる「取下書」が提出されたことから、取下げに同意したい」

旨の報告及び説明があり、決裁した。

(6) 行政訴訟の発生及び応訴

訟務官から、

行政訴訟の発生及び応訴
について報告及び説明があり、決裁した。

(7) 放置違反金納付命令に対する審査請求

訟務官から、放置違反金納付命令に対する審査請求について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明
があり、審議し、原案どおり裁決した。

(8) 運転者区分決定に対する審査請求

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明
があり、審議し、原案どおり裁決した。

(9) ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の実施

子ども女性安全対策課長から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に
基づく警告の実施について、
「平成29年2月中は、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づき、
つきまとい、面会等要求、粗野乱暴な言動、連続メール等を理由に51件の
警告を実施した」
旨の報告があった。

(10) 愛知県公安委員会の権限に属するストーカー行為等の規制等に関する法律
に規定する事務を警察本部長等に委任する規則の制定等（案）

子ども女性安全対策課長から、
「ストーカー行為等の規制等に関する法律の一部を改正する法律及びス
トーカー行為等の規制等に関する法律施行規則の一部改正する規則の施行
に伴い、禁止命令等の制度の見直しがなされ、禁止命令等の主体が公安委
員会から警察本部長又は警察署長に事務を委任することができるようにな

ったことから、愛知県公安委員会規則等を整備する」旨の報告があった。

(11) 風俗営業等の管理者講習等の実施に関する委託

保安課長から、風俗営業等の管理者講習等の実施に関する委託について、「平成29年4月1日から平成30年3月31日までの1年間、風俗営業及び特定遊興飲食店営業の管理者に対する講習の実施並びに営業所の場所及び構造・設備の調査の業務を公益社団法人愛知県防犯協会連合会に委託する」旨の説明があり、決裁した。

委員から、「委託先の管理をしっかりと行っていただきたい」旨の発言があった。

(12) 西東海広域捜査隊の編成に関する協定の改正

刑事総務課長から、西東海広域捜査隊の編成に関する協定の改正について、「西東海広域捜査隊の編成に関する協定において規定する特定区域の名称の変更並びに中部管区警察局の組織改正による所属名及び職名の変更に伴い、協定を改正し、再締結を行う」旨の説明があり、決裁した。

(13) 商工会議所と連携した交通安全活動

交通総務課長から、商工会議所と連携した交通安全活動の推進状況及び今後の展開について報告があった。

委員から、「非常に良い取組であるので、継続して実施していただきたい」「商工会議所には繰り返し交通安全活動への協力を求めていただき、交

通死亡事故ワースト 1 位の返上に向け連携を強化していただきたい」旨の発言があった。

(14) 運転経歴証明書の申請窓口の拡充

運転免許課長から、運転経歴証明書の申請窓口の拡充について、

「現在、運転経歴証明書の申請は、運転免許試験場、東三河運転免許センター及び運転免許更新窓口のある23の警察署となっており、警察署によっては運転免許証の自主返納はできても運転経歴証明書の申請ができないことから、県民の要望を踏まえ、申請者の利便性を図るため、4月3日から、名古屋市内警察署並びに愛知、蒲郡、豊川、豊橋及び新城の各警察署で運転経歴証明書の申請窓口を開設する」

旨の報告があった。

(15) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、

運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 47件

風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 4件

について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成29年3月24日 9時00分～12時30分

出席委員：入谷委員長・立花委員・天谷委員・中西委員・佐伯委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成29年度愛知県警察広報大使の委嘱	総務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長
2	女性の視点を一層反映した警察運営推進要綱の制定	警務部	
3	警察功労者（退職時）表彰式の実施		
4	主要事件の検挙	生活安全部	
5	主要事件の検挙	刑事部	
6	可搬式速度違反自動取締装置による速度取締りの運用開始	交通部	

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（2件）	総務部	公安委員会執務官
2 決裁	警察署協議会委員の辞職及び委嘱		
3 裁決	刑事収容施設法に基づく「再審査の申請」の裁決		留置管理課長
4 決裁	愛知県警察の組織に関する規則の一部改正	警務部	警 務 課 長
5 裁定	犯罪被害者等給付金支給裁定		住民サービス課長
6 決裁	苦情の調査結果（2件）		
7 報告	監察案件		首 席 監 察 官
8 裁決	運転免許取消処分に対する審査請求（3件）		訟 務 官
9 裁決	銃砲仮領置処分に対する審査請求		
10 決裁	酒類提供等営業に係る不当な勧誘、料金の不当な取立て等の規制等に関する条例施行規則の制定（案）	生活安全部	保 安 課 長
11 決裁	愛知県公安委員会事務専決規程の一部改正		
12 報告	歌謡曲を使用した啓発活動の実施	交通部	運転免許課長
13 決定	聴聞等の実施結果・決定	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

入谷委員長が県議会出席のため途中退席し、その後は立花委員が代行を務め議事を進行した。

1 全体審議

(1) 総務部

平成29年度愛知県警察広報大使の委嘱

総務部長から、平成29年度愛知県警察広報大使の委嘱について、
「東海地方を中心に活動しているアイドルグループ『BOYS AND MEN（ボーイズ アンド メン）』を、平成28年度に引き続き、平成29年度愛知県警察広報大使に委嘱し、広報活動を展開する」旨の報告があった。

委員から、
「広報効果が高いようなので、来年度の活躍も大いに期待している」旨の発言があった。

(2) 警務部

ア 女性の視点を一層反映した警察運営推進要綱（通達甲）の制定

警務部長から、
「愛知県警察では、多様な人材がその能力を十分に発揮できるよう、『女性の視点を一層反映した警察運営推進要綱』（通達甲）を策定するとともに、平成26年度から3か年計画で『全職員の意識改革の推進』、『能力・実績に応じた積極的な人材登用』等6本柱の女性の視点を一層反映した警察運営を実施しているところであるが、この取組結果や社会情勢の変化を踏まえ、内容の一部を改正し、引き続き警察の組織力の質的強化を図る」旨の報告があった。

委員から、

「女性の活躍については民間の方が先行しているので、その動向にも注目してもらいたい」

旨の発言があった。

イ 警察功労者（退職時）表彰式の実施

警務部長から、警察功労者（退職時）表彰式の実施について、

「3月31日（金）午後2時から、警察本部において実施する」旨の報告があった。

(3) 生活安全部

主要事件の検挙

生活安全部長から、

インターネットカジノ店の摘発による常習賭博被疑者の検挙概要について報告があった。

(4) 刑事部

主要事件の検挙

刑事部長から、

J R 中央本線におけるすり被疑者の検挙概要について報告があった。

委員から、

「更なる被害を食い止めることができて良かった」旨の発言があった。

(5) 交通部

可搬式速度違反自動取締装置による速度取締りの運用開始

交通部長から、

「全国初となる可搬式速度違反自動取締装置を使用した速度取締りを
4月7日（金）から実施する」

旨の報告があった。

委員から、

「全国初めての試みであるとのことなので、成果が上がることを期待し
ている」

旨の発言があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（3件）

公安委員会執務官から、

3月21日までに届いた公安委員会宛の文書等3件
について報告があり、公安委員会は、「交通取締りに関する申出」を警察法
第79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決
裁した。

(2) 警察署協議会委員の辞職及び委嘱

公安委員会執務官から、

警察署協議会委員の辞職及び委嘱
について報告があり、1警察署協議会1人の辞職及び後任者1人の委嘱につ
いて決裁した。

(3) 刑事収容施設法に基づく「再審査の申請」の裁決

留置管理課長から、刑事収容施設法に基づく再審査の申請について、

申請内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、審議し、原案どおり裁決した。

(4) 愛知県警察の組織に関する規則の一部改正

警務課長から、
「平成29年度組織改正等に伴い、愛知県警察の組織に関する規則の一部改正を行う」
旨の報告があり、決裁した。

(5) 犯罪被害者等給付金支給裁定

住民サービス課長から、
遺族給付金支給裁定 1件
について説明があり、原案どおり裁定した。

(6) 苦情の調査結果（2件）

住民サービス課長から、
公安委員会宛の「交通取締りに関する苦情」及び「職務質問に関する苦情」
について調査結果の報告及び申出者に対する通知文案の提示と説明
があり、いずれも原案どおり決裁した。

(7) 監察案件

首席監察官から、
監察案件
について報告があった。

(8) 運転免許取消処分に対する審査請求（3件）

訟務官から、運転免許取消処分に対する審査請求3件について、請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、審議し、いずれも原案どおり裁決した。

(9) 銃砲仮領置処分に対する審査請求

訟務官から、銃砲仮領置処分に対する審査請求について、請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、審議し、原案どおり裁決した。

(10) 酒類提供等営業に係る不当な勧誘、料金の不当な取立て等の規制等に関する条例施行規則の制定（案）

保安課長から、
「『酒類提供等営業に係る不当な勧誘、料金の不当な取立て等の規制等に関する条例』において、公安委員会規則に委任する事項を定めるため、
『酒類提供等営業に係る不当な勧誘、料金の不当な取立て等の規制等に関する条例施行規則』を制定する」
旨の説明があり、決裁した。

(11) 愛知県公安委員会事務専決規程の一部改正

保安課長から、
「『酒類提供等営業に係る不当な勧誘、料金の不当な取立て等の規制等に関する条例』の制定に伴い、専決事項とする事務について定めるため、
『愛知県公安委員会事務専決規程』の一部を改正する」
旨の説明があり、決裁した。

(12) 歌謡曲を使用した啓発活動の実施

運転免許課次長から、
「4月3日（月）から平成30年3月30日（金）までの間、運転免許試験

場等の更新時講習及び処分者講習を実施している34会場において、各種講習の際に交通死亡事故の実話を基に制作された楽曲を流し、交通事故の悲惨さを受講者の情緒面に訴えることにより、講習に向けての意識及び交通事故防止に関する意識の高揚を図る」旨の報告があった。

(13) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、

- | | |
|-------------------------|-----|
| ○ 運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 | 33件 |
| ○ 風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 | 4件 |
| ○ 警備業の営業停止処分に関する聴聞結果 | 1件 |

について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成29年3月31日 10時00分～12時20分

出席委員：入谷委員長・立花委員・天谷委員・中西委員・佐伯委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	初任科第304期生、初任科第305期生及び一般職員初任科第30期生入校式の実施	警務部	本 部 長 総 務 部 長
2	「平成29年度名古屋市犯罪抑止対策～政令指定都市ワースト1位罪種返上に向けて～」の策定	生活安全部	警 務 部 長 生活安全部長
3	国際的なインターネットバンキングに係る不正送金の被害防止対策		地 域 部 長 刑 事 部 長
4	主要事件の検挙	刑事部	交 通 部 長 警 備 部 長
5	県内各自治体のマスコットキャラクターを起用した交通安全広報活動の実施	交通部	名古屋市警察部長 情報通信部長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	決裁 公安委員会宛文書等の受理（3件）	総務部	公安委員会執務官
2	決裁 警察署協議会委員の辞職及び委嘱		
3	報告 監察案件	警務部	首席監察官
4	報告 公用車第一原因交通事故防止対策の推進		
5	決裁 行政訴訟の発生及び応訴		
6	裁決 放置違反金納付命令に対する審査請求（2件）	交通部	訟 務 官
7	決裁 信号機の設置等及び関連交通規制の実施（平成29年度第1次）		
8	決定 聴聞等の実施結果・決定 25件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 警務部

初任科第304期生、初任科第305期生及び一般職員初任科第30期生入校式の実施

警務部長から、

「4月6日(木)午後2時から、愛知県警察学校において、初任科第304期生、初任科第305期生及び一般職員初任科第30期生の入校式を実施する」旨の報告があった。

(2) 生活安全部

ア 「平成29年度名古屋市犯罪抑止対策～政令指定都市ワースト1位罪種返上に向けて～」の策定

生活安全部長から、

「警察と名古屋市の共同で、『平成29年度名古屋市犯罪抑止対策』を策定し、政令指定都市ワースト1位罪種の返上に向けた集中的な対策を推進していく」

旨の報告があった。

委員から、

「防犯カメラの設置は進んでいるのか」

旨の質問があり、

生活安全部長から、

「自治体による補助金制度も拡充の方向に進んでいるので、連携をとって更に促進させていきたい」

旨の説明があった。

イ 国際的なインターネットバンキングに係る不正送金の被害防止対策

生活安全部長から、
国際的なインターネットバンキングに係る不正送金事犯の現状及び被害防止対策
について報告があった。

委員から、
「データの解析等難しい捜査を少数精鋭で非常によく頑張っていた
いている」
旨のねぎらいの言葉があった。

(3) 刑事部

主要事件の検挙

刑事部長から、
詐欺グループ被疑者の検挙概要
について報告があった。

委員から、
「大変よい仕事をされた」
「背後関係も含め、是非全容解明に尽力していただきたい」
旨の発言があった。

(3) 交通部

県内各自治体のマスコットキャラクターを起用した交通安全広報活動

交通部長から、
「安全で快適な交通社会を実現するため、県内各自治体のマスコットキャラクターを『交通安全大使』として起用し、自治体と連携した効果的な交通安全広報活動を展開することによって、交通安全キャンペーンの活性化や自治体の自主的な活動の促進を図る」
旨の報告があった。

委員から、

「積極的な街頭活動を行うとともに、こうした活動が広く県民に浸透するよう、積極的に広報されたい」

「交通死亡事故ワースト1位返上に向け、効果が上がるよう期待する」旨の発言があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（3件）

公安委員会執務官から、

3月27日までに届いた公安委員会宛の文書等3件について報告があり、公安委員会は、「駐車違反に関する申出」を警察法第79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 警察署協議会委員の辞職及び委嘱

公安委員会執務官から、

警察署協議会委員の辞職及び委嘱について報告があり、1警察署協議会1人の辞職及び後任者1人の委嘱について決裁した。

(3) 監察案件

首席監察官から、

監察案件
について報告があった。

(4) 公用車第一原因交通事故防止対策の推進

首席監察官から、

「公用車第一原因交通事故の発生に歯止めをかけるため、所属ごとに交通事故防止の取組みを強化するとともに、一人一人の職員に交通事故防止についての意識を持たせ、実効ある交通事故防止対策を図る」

旨の報告があった。

(5) 行政訴訟の発生及び応訴

訟務官から、行政訴訟の発生及び応訴について、

「愛知県公安委員会による警備業に係る営業停止処分の執行停止の申立て及び取消しを求めて平成29年3月28日名古屋地方裁判所に提訴された行政訴訟については、3月30日付けで公安委員会の決裁を受け応訴の手続を進めている。今後、裁判所が同営業停止処分の執行停止を決定した場合は、決定内容を踏まえて、即時抗告するか否かを検討する」

旨の報告及び説明があり、決裁した。

(6) 放置違反金納付命令に対する審査請求（2件）

訟務官から、放置違反金納付命令に対する審査請求2件について、

請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明

があり、審議し、いずれも原案どおり裁決した。

(7) 信号機の設置等及び関連交通規制の実施（平成29年度第1次）

交通規制課長から、信号機の設置等及び関連交通規制等の実施(第1次)について、

「平成29年度第1次分として14基の信号機を設置し、9基を廃止する。

それに伴い、必要な交通規制を実施又は廃止する」

旨の説明があり、決裁した。

(8) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 25件
について報告があり、行政処分を決定した。